

陳情文書表

平成29年第2回神奈川県議会定例会

平成29年6月23日

陳情番号	119	付議年月日	29.6.20
件名	下山口マンション建設・宅地造成開発事業の妥当性の検討を求める陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>1 陳情の要旨</p> <p>葉山の重要で希少な環境や景観に大きな影響を及ぼす大型の建造物の建設について、京急不動産トップはもっと地域住民代表者と話し合う必要があります。今後改善すべき事項は、以下のとおりであります。つきましては、京急不動産からの建築許可申請の審査にあたり慎重なご検討を陳情いたします。</p> <p>2 陳情の理由</p> <p>今般、県立葉山公園の南東に隣接する敷地(葉山町下山口字白石1982番地)において提案されている「葉山町下山口プロジェクト(高さ11.99m、延伸103.70m、4階建て55戸のマンションおよび分譲宅地(10区画))」の建設および造成開発について、葉山町長が平成29年4月28日付けで京急不動産と開発事業に関する協定書を締結しており、現在、神奈川県知事の許可を求める申請がなされております。</p> <p>しかしながら、昨年9月3日に本開発事業に関して下山口会館で開催された公聴会で6名の公述人が全員一致で本事業に反対意見を述べましたとおり、当初より本事業には多々の問題が指摘されておりました。葉山町議会は昨年12月の定例会で「葉山町下山口プロジェクトに係る公聴会における公述内容を尊重する重要性の確認を求める陳情書」を趣旨了承としております。葉山町役場は建設計画の修正を求め指導を行ってきたようですが、その過程に関する情報は公開されることなく、4月28日に協定書が締結されています。先月5月28日に京急不動産等事業者が下山口会館で実施した説明会では、役場との協議内容が示され、指導がなされた17項目のうち15項目が建設計画内容でしたが、多くの項目について、役場による指導を事実上拒否していることが明らかになりました。本計画が神奈川県施設に隣接する地区で予定され、重要な県の施策と抵触する恐れがあると考えられることから、県の施策に照らし、本事業計画が妥当であるか、特に下記の諸点も含めご検討頂けますよう陳情申し上げます。</p> <p>(1) 長さ100m超に及ぶ構造物について</p> <p>県立葉山公園に隣接し、県の景観50選、国指定なぎさ100選の一つに選ばれている長者ヶ崎、さらには町民・県民が誇りにし、大切にしている葉山御用邸に近接する位置に、高さ12m・長さ100m超の大型構造物はいかがなものか。この近辺は両陛下の散歩道でもあり、高さは条例で認められていても、環境デザインの視点からは容易に認めることはできません。</p>			

分離型の落ち着いた集合住宅に改善される必要があります。

(2) 緑化による景観保全について

三保の松原のように、松より高い建物は建てさせないという指導があるように、今回の建物も海側および国道側からは建物より高い樹木によって、建物が見えないようにして欲しい。従前の美しい景観を保全し、防風・防砂機能を維持するためにも、沿岸の既存樹木は、すべて保存する必要があります。

(3) 下水道について

この地域の下水道は、未整備です。葉山町は現在、この地域での下水道敷設計画を検討しております。海への汚染を防止するために、下水道敷設工事が完了した後に、分離型集合住宅の工事を検討すべきです。

(4) 表流水・伏流水について

建設予定地には、峰山から流れる表流水や伏流水が流れる水みちが通っており、今年春に既存建築物を解体撤去した際には、跡地にため池が出現してその対応に追われていました。このことからこの土地は、水みちの変更を伴う大規模な構造物の建築には不向きであり、隣接地区の地盤にも影響を与えると思われます。またこの地域は、土砂災害警戒区域に隣接しています。

(5) 周辺の法人所有地の範となる配慮について

現地周辺はかつて一族が北条側に敗れた決戦の地であり、また貴重な断層の見られる場所で、歴史学・地層学から文化・教育上も貴重な場所です。設計にあたっては環境に十分配慮したしょうやかな建物とし、今後周辺の法人所有地における建設工事の範となるよう、慎重な配慮を求めます。

陳情番号	120	付議年月日	29.6.22
件名	藤沢駅へのホームドア設置について陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>1 陳情趣旨</p> <p>いま、鉄道各社では、2020年オリンピック・パラリンピックを前に「観光客へのおもてなし」などの理由で、駅のバリアフリーやホームドアを設置する取組が進んでいます。東急電鉄は2019年度内に県内の全駅にホームドア設置を発表しました。ところが、JR東日本や小田急電鉄ではなかなか進んでいません。</p> <p>私たちが毎日の通勤・通学や買い物に利用する藤沢駅は、JR線、小田急江ノ島線ともに乗客10万人以上の利用駅で、国のホームドア設置の補助対象駅です。毎日大変な混雑で、私たちも転落の危険性を感じています。</p> <p>そればかりではありません。藤沢市の江ノ島は、オリンピックのセーリング会場となっています。知事は、記者会見でも、「事前大会が行われる。準備はまったなし」と話されています。日常の混雑に加えた国あげてのイベントで外国の方を含め大変な混雑が予想されます。国際交流も安全が第一です。</p> <p>ぜひ一日も早く、藤沢駅(JR東日本、小田急電鉄ともに)にホームドアを設置して下さい。</p> <p>2 陳情項目</p> <p>①藤沢駅へのホームドアの設置を県として早急に推進する対象にして下さい。</p> <p>②JR、小田急電鉄に藤沢駅へのホームドア設置を早急に行うよう働きかけて下さい。</p>			